

ボランティア勉強会

国際交流人材の育成事業の一環として、ボランティア活動者の技術向上及び、活動者相互の連携強化を図ることを目的として、例年、各種勉強会を実施しています。今年度は「多文化共生のまちと人を作るための勉強会」と題して多文化共生のまちづくりに向けてボランティアとして何ができるのかを一緒に考える会を5回実施しました。

【第1回】多文化共生勉強会①

■開催日：2018年5月13日(日)

■場所：市教育総合センター

■内容：講師にタンシンイ様、佐藤広明様をお招きし、タン様には外国人住民から受けた各種相談の中でボランティアで可能な相談事例を、佐藤様には専門家(行政書士・弁護士等)で対応すべき事例をご紹介いただいた。

■参加者：23名

【第2回】「鹿児島におけるグローバル化の現状と課題～技能実習生を取り巻く現状を踏まえて私達にできること～」

■開催日：2018年7月29日(日)

■場所：市教育総合センター

■内容：講師に鹿児島大学法文学部の酒井佑輔准教授をお招きし、鹿児島における外国人住民(特に技能実習生)の現状や課題を網羅的に踏まえた上でグループワークを行った。

■参加者：34名



【第3回】「やさしい日本語」勉強会

■開催日：2018年8月5日(日)

■場所：市教育総合センター

■内容：講師に鹿児島大学グローバルセンターの和田礼子教授をお招きし、講話とグループワークで、外国人住民に伝わる日本語、理解してもらえぬ日本語など「やさしい日本語」について学んだ。

■参加者：25名

「高台に避難」
→「たかいところに
にげて！」



【第4回】外国人ママ支援のための勉強会

■開催日：2018年9月28日(金)

■場所：市東部保健センター

■内容：市母子保健課保健師の松崎栄香様をファシリテーターにお迎えし、市が実施しているママ支援制度や施設について学んだ後、外国人ママさん、外国人ママに対応する保健師さん両方から「こういうことに困った」経験談を伺い、ボランティアで何のお手伝いができるかを話し合うグループワークを行った。

■参加者：21名



【第5回】通訳ボランティア研修会「通訳のコツとツボ」

■開催日：2018年10月6日(土)

■場所：宝山ホール

■内容：講師に山崎美智子氏(アイエス通訳システムズ代表取締役)をお招きし、「外国語が話せること」と「通訳をすること」の違い、通訳をする際の注意点や楽しさ、通訳をするための勉強法などを学んだ。

■参加者：35名



クリスマス交流会

■開催日：2018年12月22日(土)

■場所：県民交流センター

インドネシア出身のインベネさんを先生に迎え、クリスマス交流会を開催し、9家族27名の皆さんが参加してくださいました。

まずは、インドネシアでのクリスマスの過ごし方を紹介。子どもたちはクイズやダンス、歌を通して楽しくインドネシアについて学びました。続いて、クリスマスカード作り。自分の好きな形のカードを選び、願い事を書き、カードいっぱい飾り付けを楽しみました。最後は子どもたちお楽しみみのインドネシアのお菓子「ピサンバカラ(焼きバナナ)」作りへ!先生に通り作り方を習った子どもたちは、自分でバナナを焼き、チーズ・チョコ・メイプルシロップなどでトッピング。保護者の皆さんは普段しない組み合わせに驚きながらも、カラフルに盛り付け出来たピサンバカラに大満足。最後は皆でおいしくいただきました。子どもでも簡単に美味しく作れるので、お家でもぜひ作ってみてくださいね!



八段錦教室

■開催日：2019年1月26日（土）

■場所：かごしま市民福祉プラザ

鹿児島市国際交流アドバイザー 紀興民さんを講師に迎え、「八段錦教室」を開催し、26名の皆さんが参加してくださいました。

まずは、「八段錦」についての講座。「八段錦」とは中国に受け継がれてきた気功で800年以上の歴史を持つ健康法です。中国語では絹織物の中で最も美しいものという意味があり、ここでは選りすぐられた素晴らしい運動と解釈され、8つのフォームを繰り返して行います。講座の後は、実際に八段錦を体験していただきました。一見簡単そうに見えますが、ゆっくりとした動作の中に、それ

ぞれ意味・効能が込められており、一度行うだけでもじんわりと汗をかく程です。参加者の皆さんは八段錦を通して、中国文化への理解を深め、また心身ともにリラックスできるいい機会となりました。



国際交流アドバイザー（CIR）によるオーストラリア文化・語学講座

■開催日：2019年2月6日～3月13日（全6回）

■場所：かごしま市民福祉プラザ

鹿児島市の国際交流アドバイザー（CIR）のネイザン・タルボットさんによる文化・語学講座が、2月から3月にかけて全6回で行われました。

「文化・語学講座」と名付けていることには意味があり、ただ英語を学習するというよりも、ネイザンさんのバックグラウンドであるオーストラリア文化や、CIR業務を通して培った経験なども織り込んだ、講師の方の魅力が前面に出る人気講座です。

今回の講座でネイザンさんが特に伝えたかったことは、「自分なりの表現で、英語で意見を述べる」という、日本

人の多くの方が苦手とすることの魅力についてでした。例えば「言語・食・外国人」などの、答えが簡単には出ないトピックについて話し合う中で、最初の週は本当に大変そうにしていた参加者の方も、ネイザンさんの熱心かつ丁寧な進め方のおかげで、自分から進んでみなさんの前で発言できるまでになっていました。



かごしま環境教室

■開催日：2019年2月20日（水）

■場所：北部清掃工場・リサイクルプラザ

在住外国人の皆さんのために鹿児島のゴミ問題への意識啓発を目的として環境教室を開催しました。見学先の北部清掃工場・リサイクルプラザでは、ゴミ処理の過程を直接目で見ることができ、各地から集めてきた大量のゴミに外国人の皆さんはビックリしました！

目の前で大切な資源が捨てられていくのを目にした参加者の皆さんは、資源物を大切にしないといけないと職員の方から教わり、鹿児島で捨てられるゴミ事情について学びました。牛乳パック6枚でトイレトーパーが1個作られるということや、プラスチック

容器類で立派な洋服ができるという事を、実物を見せられながら教わった参加者はリサイクルの大事さを実感しました。見学の最後には「今まであんまり気にせずにものを捨ててきたが、これからはゴミの分別を徹底的にしようと思います」とネパール出身の参加者が嬉しい感想を述べてくれました。



ベトナム旧正月フェスタ

■開催日：2019年2月10日(日)

■場所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島で生活するベトナム人の皆さんが集まって旧正月を祝い、また日本人と交流するベトナム旧正月フェスタが昨年に引き続き、今年も開かれました。

今年の旧正月は2月5日でした。日本で暮らす多くのアジア出身者は、この時期を大事にしますが、忙しい生活で中々帰省できず、寂しい想いをする人が多いようです。その中でも近年、急増するベトナム出身者同士で集まって故郷を想うこのような場を、鹿児島県、鹿児島県日越友好協会との共催で提供しました。

今年参加した約400名のベトナム人参加者の中で、特に多かったのは工場などでお仕事をするために来鹿した技能実習生の若者たちでした。会場は皆で一緒になって、新年を迎えた喜びを分かち合いながら盛り上がりました。綺麗なアオザイを纏って会場を歩く女性たちの姿も多く見られました。



国際協力講演会&青年海外協力隊員報告会



■開催日：2019年2月17日(日)

■場所：鹿児島市中央公民館

「国際協力講演会&青年海外協力隊員報告会」を開催し、101名の皆さんが参加してくださいました。第一部では、歌手・一般社団法人Enije代表、明星大学客員教授と多方面でご活躍されている矢野デイビット氏を迎え、講演会を行いました。ガーナにルーツを持つデイビット氏は、ガーナでのストリートチルドレンとの出会いをきっかけに人生が大きく変わりました。現地支援をする中での成功や失敗談、本当の支援とは自尊心を育てること、また幸せの意味とは何なのか、など体験に基づくお話は参加者の皆さんの心にストレートに響いたようです。

第二部の青年海外協力隊員の報告会では、タンザニアで数学教育に携わった西星良氏とブルキナファソで小学校教諭として指導法の改善を行った松山遼氏に活

動報告を行っていただきました。それぞれ、現地の状況や、隊員として活動する中で苦労したことや工夫したこと、帰国後どのように活かしているのかについてお話いただきました。

今回の公演や報告を通して、自分に何ができるのかを考える素晴らしいきっかけとなった一日でした。

